



【ホームページ公開のお知らせ】

日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部のホームページが公開されました。

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-tohoku/index.html>

東北各地での研修会・セミナー等の情報を提供してまいります。

【県支部関連】

日本プライマリ・ケア連合学会 宮城県支部設立総会

日時 2018年7月14日(土)17時00分～18時00分

会場 東北大学病院 臨床講義棟 臨床大講堂

2018年7月14日、第8回宮城プライマリ・ケア研究会後、東北大学で県支部設立総会が開催されました。県支部会の会則承認の後、設立にあたった世話人会からの幹事・監事・顧問案が承認されました。その後、臨時の幹事会を開催し、互選の結果、県支部会長に東北大学 総合地域医療教育支援部 石井正教授を推薦し、総会で石井県支部会長が選出されました。

今後は宮城プライマリ・ケア研究会の継続運営など、宮城県の会員への情報発信、勉強会の開催などを企画してまいります。

(宮城県支部会 役員)

支部長 石井正

幹事 阿部倫明、小幡篤、齊藤稔哲、住友和宏、高山真、田中淳一、長純一、長野正裕、古川勝敏 (50音順)

顧問 濃沼信夫

監事 川島孝一郎、本郷道夫

【学生・研修医向けイベントのご案内】

あきセミ 総合診療を知る、秋@東北

また秋がやってきました。今年で第5回を迎える、秋の総合診療セミナーです。

総合診療・家庭医療って言葉が気になる方、必見です。

ワークショップやトークイベントなどを用意してお待ちしております。

日時：2018年11月17日 13:30～18:30 予定

場所：東北大学星陵キャンパス 臨床講義棟

内容・詳細が決まりましたら、上記東北ブロック支部ホームページにてお知らせします。

【地方会開催報告】

第8回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部学術集会

「みんなで育てる総合診療人“財”」

大会長 石井 正 (東北大学病院 総合地域医療教育支援部 教授)

日時 2018年9月1日(土)・2日(日)

会場 仙台市医師会館

内容 特別講演、シンポジウム2題、一般演題、ワークショップ

◎総括

第8回東北ブロック支部学術集会が2018年9月1日、2日の2日間、仙台市の仙台市医師会館を会場に開催されました。今回は、本学術集会のテーマは、「東北みんなで育てる総合診療人“財”」に掲げました。今後、我が国は超高齢化・少子化社会を確実に迎えます。それを踏まえて進められている地域医療構想や地域包括ケア体制に適切に対応するためには、今後ますます総合診療医の果たす役割が重要になってくるものと思われます。また2016年度に改訂された医学教育モデル・コア・カリキュラムでも「多様な医療ニーズに対応できる医師の育成」が基本方針の一つとして挙げられ、これは「総合診療医的スキルを持った医師の育成」と言い換えても過言ではありません。従って東北地域においても、総合診療医をどうやって育成していくのか、総合診療専門医制度も含め、そのあり方が今、問われています。

このテーマに沿って、「東北地域に総合診療医を増やすために」「多職種が育てる総合診療医」と題した2つのシンポジウムを企画し、また本学会理事長 丸山泉先生にお越しいただき、「プライマリ・ケアの今と明日」を題して、特別講演をいただきました。その他にも会員の皆様の日頃の成果の発表の場としての一般演題のセッションや5つの学習企画を準備いたしました。

開会式では石井正大会長が開会の挨拶を行い、坂戸東北ブロック支部長のご挨拶からご挨拶をいただきました。プログラムの詳細は後述のため概略を記しますが、初日はシンポジウム1として「東北地域に総合診療医を増やすために」を行い、4名のシンポジストからの発表とディスカッションが行われました。各地での取り組みを紹介いただき、総合診療医を増やすための提言をいただきました。また本学会理事長 丸山泉先生から「プライマリ・ケアの今と明日」と題し、プライマリ・ケアの専門性とは何かというような論点を複数示していただき、講演いただきました。その後、シンポジウム2として、「多職種が育てる総合診療医」と題し、5名のシンポジストからのご発表とディスカッションが行われました。複数の職種から自らの経験を踏まえ、医師以外の職種が総合診療医育成に関わることのご提言をいただき、会場全体を巻き込んでの活発な意見交換がなされました。

懇親会は初日プログラム終了後に仙台ガーデンパレスへ場所を移して行われ、理事長、シンポジストを交えて、多くの方にご参加いただき、大いに盛り上がりました。

2日目は、3会場に分かれて、学術集会ということもあり、盛岡大会に続き、一般演題(口演)を9題行われ、また企画として、「専攻医ポートフォリオ発表会～多職種で考える総合診療～」、「WONCA Working Party for Mental Health に学ぶプライマリ・ケアにおけるうつ病マネジメント in 東北」、「医療者のためのアンガーマネジメント入門」、「在宅医療×方針決定」を行いました。他にミニシンポジウム「災害時における避難所情報収集のあり方」を行いました。2日目も各会場で多くの方に参加いただき、大変盛り上がりました。その後、閉会式を行い、終了しました。

最終的に129名の方に本学術集会に参加いただきました。なお2日目午後からは、市民公開講座「漢方がもっと身近になるお話」と題して、東北大学の太澤稔先生、菊池章子先生、高山真先生にご講演いただきました。

こちらも多くの方が興味深く聴講しておりました。



今回の学術集会では、多職種からなる宮城県の関係者に協力を依頼し、実行委員会、実行ワーキンググループを2017年11月に起ち上げました。実行委員会は7回、実行ワーキンググループ会議は13回開催しましたが、多忙な業務の中、また遠隔地の関係者もいるため、ネット会議などの手法を用いて、金銭的にも時間的にも可能な限り負担軽減を図りました。また当日は多くのスタッフにも協力していただきました。一部抄録集やホームページなど外注しましたが、予算の関係もあり、大部分が手作りに近いものであり、参加者の皆様には何かとご不便ご不満を感じることも多かったかと思いますが、皆様のご理解とご協力により盛会裏に終了できましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。来年度の青森におきましても、多数のご参加を得て大盛会になることを祈念いたしております。

【研修会開催予定】

第22回 ER&GPカンファランス

主催 秋田県総合診療・家庭医研修センター

日時 2018年9月21日(金) 17時15分～19時30分

会場 秋田県総合医療・家庭医研修センター

対象 学会専門医プログラム参加者・認定医・認定薬剤師・初期研修医・医学生を含む全ての医療関係者

内容 ・Case Conference

・凱旋公演

シャリテン ベルリン医科大学 大学院 MD,DTMH 笹渕美香先生

・ER&GP seminar I

みちのく総合診療医学センター 坂総合病院 救急科 科長 佐々木隆徳先生

・ER&GP seminar II

自治医科大学地域医療学センター 准教授 三瀬順一先生

受講費 無料

担当者 秋田県総合医療・家庭医研修センター 総務管理課 門間 夕姫

018-880-3000 akikumi@akikumihsp.com

第1回 日本プライマリ・ケア連合学会 岩手県支部研修会

日時 2018年11月3日(土・祝日) 13:30～17:00

会場 エスポワール いわて

参加対象 日本プライマリ・ケア連合学会 会員(県内外問わず)

およびプライマリ・ケア、総合診療に関心のある

医師・医療者・医学生・医療系学生・その他

参加費 単位取得者 2000円(当日徴収)

単位取得ない場合は無料

※認定医・専門医 3単位 認定薬剤師は全参加で2単位です。

日本プライマリ・ケア連合学会
第1回 岩手県支部 研修会

1. 一般演題：岩手県内の各施設から

2. 特別講演：「プライマリ・ケアが必要な理由」
日本プライマリ・ケア連合学会 理事
福島県立医科大学医学部地域・家庭医療学講座 主任教授
葛西 龍樹 先生

開催概要
日時：2018年11月3日(土・祝日)
13:30～17:00(受付開始13:00～)

場所：エスポワール いわて アクセス→

対象：日本プライマリ・ケア連合学会 会員
および プライマリ・ケア、総合診療に関心のある
医師・医療者・医学生・医療系学生・その他

参加費：単位取得者2000円(その他の方は無料)
懇親会費は別途4000円程度

※認定医・専門医 3単位 認定薬剤師 2単位

お問い合わせ先：岩手医科大学 教務・図書・総合医学講座 総合診療医学分野
〒020-8505 岩手県盛岡市大内1-1-1 TEL:019-651-9111 Mail: suzuhito@wate-med.ac.jp

事前参加登録→ <https://goo.gl/forms/8B82B25kX0CT93Hn1>

事前参加申し込みは必須ではありませんが、当日の事務作業負担軽減のため、ご協力をお願いいたします。

10月31日17時に事前登録を締め切りいたします。

詳細・お申込み

https://docs.google.com/document/d/1HcrxILhtg50yhp0e1MMWsp_fWEKRxlhotJWoQraCk1c/mobilebasic



【研修会開催報告】

東北プライマリ・ケアリサーチミーティング

日時 2018年7月8日(日) 8時45分～12時00分

会場 公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 セミナー室

主催 CFMD 総合診療専門研修プログラム・東北 & みちのく総合診療医学センター

内容 研修会テーマ：臨床研究のブラッシュアップ

研究アドバイザー： 松島雅人教授

(東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター

臨床疫学研究部長)



研修会内容：

- ①プライマリ・ケア医が臨床研究に取り組むことの重要性 (ミニレクチャー)
- ②総合診療専門研修での臨床研究 (ミニレクチャー)
- ③家庭医療専門医がおこなった研究例発表 (ワークショップ)
- ④専攻医からのリサーチクエスチョン、またはプロトコール原案の発表
(ワークショップ)

感想： 今回のミニレクチャーやワークショップを通じて、専攻医のすすめる臨床研究がさらにブラッシュアップされました。

通算5回目の開催となった研修会でしたが、回を重ねるごとに参加者の顔ぶれも広がりを見せております。

専攻医 ポートフォリオ発表・学習講演会

主催 みちのく総合診療医学センター

日時 2018年8月25日(土) 14時00分～18時00分

会場 宮城県塩釜市 坂総合病院 2階 セミナー室

対象 専攻医・指導医他 (他職種の参加可)

内容 ・ポートフォリオ発表

・ワークショップ、学習講演 「多忙な日常診療の中でいかに教育していくか」

医療福祉生協連 家庭医療学開発センター センター長 藤沼 康樹 先生

担当者 坂総合病院 医師医学生室 佐藤 亜紀

022-365-7033 mcp@zmkk.org

第4回 いわて総合診療カンファランス

日時：2018年7月24日（火）17：30～

会場：盛岡市・岩手県立中央病院

（岩手情報ハイウェイ通信を使用して県内各病院へ
ネット配信）


講師：岩手県赤十字血液センター 佐藤朗先生

演題：「痛み治療に携わってきた観点から」

**第4回
いわて総合診療カンファランス**

「痛み治療に携わってきた経験から」

**岩手県赤十字血液センター
佐藤 朗 先生**



岩手県立中央病院ペインクリニック科・初代科長として
岩手の痛み診療を黎明期より支えてこられた佐藤朗先生。
貴重なご経験を述べてきてこられたプロフェッショナルリズムの
中にあるジェネラリズムを紐解いていただきます。
患者さんの抱える「痛み」、それは神として身体にとどまらず
精神的にも大きな負担となります。岩手県内の無数の「痛み」に
携わり、寄り添ってこられた先生のお話は若手医師はもちろん
ベテランの先生方にとっても爽りあるものになるうかと思えます。

日時：2018年7月24日（火）17：30～18：30
講演 30分 質疑応答 30分の予定

主担当：岩手県立中央病院総合診療科
（主会場：中央病院3階、第2会議室）

岩手情報ハイウェイ配信
視聴会場 岩手医科大学：60周年記念館9階第2講義室
県立病院：施設内各会場
※配信会場については各施設の担当者にご確認ください。

事務局・問い合わせ：岩手医科大学 教養・災害・総合医学講座
総合診療医学分科 助教 山田 哲也
〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19-1 TEL 019-651-5111
Mail: teyamada@iwate-med.ac.jp

第8回宮城プライマリ・ケア研究会

主催 日本プライマリ・ケア連合学会 宮城県支部会 設立世話人会

後援 東北大学 地域総合診療医育成寄附講座

日時 2018年7月14日（土）14時30分～17時00分

会場 東北大学病院 臨床講義棟 臨床小講堂

7月14日に東北大学において、第8回宮城プライマリ・ケア研究会を開催しました。これまでみちのく総合診療医学センター主催でしたが、本学会の宮城県支部設立に伴い、主催が県支部に移行しています。内容は従来通り、専攻医によるポートフォリオ発表と特別講演の2本立てとしました。今回、発表していただいたのは、上原周悟先生（女川町地域医療センター）、佐藤英之先生（みちのく総合診療医学センター）、菅谷涼先生（気仙沼市立本吉病院）、齊藤 奈津美先生（東北大学病院）の4人です。ポートフォリオとして、各人の経験をまとめていただき、またフロアとの質疑応答も盛り上がりしました。特別講演は、「プライマリ・ケア医に必要な便秘の知識」という演題で 東北大学 田中由佳里 先生にレクチャーいただきました。便秘に対して基本的な事項だけでなく、最近の話題なども盛り込まれており、非常に面白く、ためになる講義でした。

次回は2019年1月12日に東北大学で開催予定としております。また皆様のご参加お待ちしております。